

令和2年度第3回碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

議事要旨

日 時	令和2年12月16日（水） 午後1時～午後2時30分		
場 所	碧南市役所 7階 議員大会議室		
出席者 ■出席 □欠席	推進会議 委員	■禰宜田市長 ■石川委員 ■齋藤委員 □三島委員 ■平松委員 □玄間委員 □本田委員 ■岩崎委員 ■三浦委員 □永田委員 ■岡本委員 ■宮崎委員 ■山田委員 ■鈴木委員 ■永坂委員 ■高須委員	
	事務局	奥谷総務部長、生田経営企画課長、鈴木主査、渋谷主事、中嶋商工課長	
傍聴者	0名		
次 第	1 市長あいさつ 2 第2期碧南市人口ビジョン（案）について 3 第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について 4 意見交換 5 今後の流れについて		
1 市長あいさつ	○市長よりあいさつ		
2～5	○本日の議事録及び資料は市のホームページで公開することを説明 ○2、3、5については議長（市長）により進行、事務局から資料説明 ○4意見交換により聴取した内容は以下のとおり		
委員からの主な発言			
次第4よりの意見			
石川委員	●施策の内容について、できたら抽象的な表現から具体的な表現の方がいいのではないかと。 ●人口問題についても、どうやって人口を増やしていくのか、インパクトのある表現ができないのか。 ●商工業者にとっても人口が減ると影響が大きい。 ●出生率が上がっていくような環境をつくってくれるといい。 ●今市内に住んでいる人と若い人が碧南市を選んでももらえるようになるのが重要。 ●人口増への仕掛けづくりの具体的なものを考えていただけるようなものになるといい。		

事務局	●総合戦略としては、施策・K P I や事業名はあるが、全体的な流れや総合計画を補完する計画であります。前段の部分で総合計画との関係性を少しわかりやすく、反映させていただきます。
岩崎委員	●この総合戦略のバックにあるのは総合計画がメインとなっています。 ●総合戦略は国の交付金をもらうために必要なものです。 ●総合計画の中に総合戦略を入れている自治体もあるが、碧南市の総合戦略は総合計画との2本立てとなっていますが、総合計画と密接につながっているカタチとなっています。 ●人口ビジョンに「人口の変化が地域に与える影響」については、ちゃんと出しておいた方がいい。 ●年齢3区分別人口の推移ですが、人口が増えていくことを前提として、3区分の推計を見直す必要があります。その中で生産年齢人口がほんとうに減るのかどうなるかも重要です。 将来の3区分の将来推計を踏まえる必要があります。 ●老年人口の推移があるが、75歳以上、85歳以上は実数で示した方がいい。 ●専業主婦であるお母さんたちが、地域のために働く場の提供が必要です。 ●地域への支援、お父さん世代、お母さん世代がどう生きがいを見出して地域に貢献していくのか、総合戦略にいれておく必要があると思います。 ●女性の就業者、65歳以上の就業者数は非正規雇用であることが想定されいます。そのため就業者数が増える一方、地域で活動をしようとする人が少なくなってくるため、地域の活動に対して人手不足が生じてきています。その担い手をどのように確保するのか、行政がどういう対応をするのが重要です。例えば、最低賃金を払えるような環境を整えるのが大事。
事務局	●もう少し総合計画との関係性をわかりやすく記載します。 ●75歳以上、85歳以上の老年人口の実数による推移は掲載します。 ●他の内容については、どういう対応ができるのか検討します。
高須委員	●高校までは県内にいるけど、大学で碧南から県外にいくと帰ってこない。 そのため、小・中学校のうちに、碧南の魅力を伝える活動をしていくことが大事。 ●元気ッス！へきなんのスタッフに新しいメンバーが入ってこない。スタッフをやりたい、などの取っ掛かりがあればと思います。
岩崎委員	●高校で「探究」を進めることにより、人材を育成しようという動きがあります。小・中・高をつなげると元気ッス！の活動に小・中・高なりに何ができるか。元気ッス！へきなんスタッフ側から学校に提案しないとイケない。「こんなことはしませんか？」というメニューを提示することが大事。

事務局	●大学まで行って帰ってこない。というご意見ですが、直近の動向では１０代、２０代、３０代では転入超過となっています。その中では１０代が一番多く転入超過となっており、市内の製造業に就職していることが想定されます。次に多いのは３０代のため、働く場の近くに定住していると想定しています。
宮崎委員	●フルタイムでは働くことが難しい家庭に入られていて資格をもっている主婦の方に、地域で活躍できるようにならないかという部分も大事。 ●市民一人ひとりが地域の団体で、組織を構えていくと、６５歳以上になり外から碧南に帰ってくる人が地域のために働いてくれる。そのような地域貢献が根付くようになるとよいと思います。
齋藤委員	●駅周辺についてのＫＰＩを設定できないのか。例えば、駅周辺から徒歩１０分で住宅地、商業施設が何店舗か、エリアでの件数を出すことができないか。ＫＰＩを設定しないとどれぐらいの進捗がわからず、漠然としてしまう。 ●駅周辺に出店する方への補助はないのか。市の方向性として出していくことはできないのか。
事務局	駅周辺は自治体の賑わいが必要と考えています。良好な住宅は特段駅周辺に整備しようというものはありません。
山田委員	●地区との関係については、民間の企業側の社会貢献のあり方も重要になってきています。 ●実は子ども会の役員、婦人会に入っている人が増えている傾向にあるが、女性中心ではあるが、男性もやってほしいとの意見もある。 ●戸建てのところが多く、地域のつながりが強いと感じます。